

初めまして、8月より島原市地域おこし協力隊として活動している倉林 実央と申します。埼玉県出身、社会人になってからは東京で暮らしており、九州地方で生活するのは初めてです。前職では信販会社にてコールセンター対応やキャンペーン企画、クレジットカード利用によるポイント管理などの業務を行っていました。

火山の図鑑を読んでダイナミックさに心奪われた幼少期。その後、さまざまな火山を調べている中で雲仙・普賢岳火山災害を知りました。平成が終わる前に平成新山をこの目で見たいと思い、昨年ゴールデンウィークに島

原市を訪問。その際に「あちこちで流れる湧水が美しい街」という印象を受けました。興味を持っていただける活動にも取り組みたいと考えています。

さまざまな人にお会いし、縁も所縁もなかった島原を心の故郷にしたいので、皆さんどうぞよろしくお願いたします。

▶問い合わせ先 政策企画課 (☎内線 146)



地域おこし協力隊
くらぼやし みお
倉林 実央 さん (29 歳)

原市を訪問。その際に「あちこちで流れる湧水が美しい街」という印象を受けました。

趣味は旅で、国内外を一人でふらっと出かけます。旅中に個性溢れるゲストハウスの泊



地域おこし協力隊「コラム」

協力隊、なんしよっと？

地域おこし協力隊 萩原大介

島原市でも頑張っている地元の皆様、移住されてきた方々、若い方々、女性の方々、外国から来られた方々等あらゆる個性が既に存在しています。そこには優劣は存在しません。全ての個性を最大限に

活かすことが、島原市の発展に貢献していくと強く思います。偶然にも私は複数の外国語を学ぶ、さまざまな個性が存在する中で仕事をさせていただきました。テレワークを導入するため、スキルと多様性の経験などを活かして、島原市の発展に貢献できればと考えています。

▼問い合わせ先 政策企画課 (☎内線 146)

